

とちぎ

# 県民だより

# 7

月号



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



ロケ風景 (黒磯市那珂川にて)



## 映画「オサムの朝」上映始まる

● 本当の豊かさを優しく問いかける感動作！

戦後まもない那須地域を舞台に、大自然の中で貧しくもたくましく育つ少年の姿を描いた映画「オサムの朝(あした)」が、この夏いよいよ全国公開されます。

原作は、第十回坪田譲治文学賞を受賞した、本県ゆかりの作家 森詠さんの自伝的小説です。

映画の中では原作にはない現代の家庭教育問題などを絡め、現代の大人も子供も忘れかけている自然と人間との関わり、人と人とのつながりをあらためて問いかけています。

### オールとちぎロケ

映画には、主人公の修に中村雅俊さん、その少年時代の両親役に手塚理美さんと榎木孝明さんが出演、そのほか原田龍二さん、石田ひかりさんなど豪華なキャストが競演しています。さらに、オーディションで選ばれた県内の子供たち三十人を始め、多くの県民の方々がエキストラとして出演しています。



榎木 孝明



手塚 理美

映画の撮影は、昨年七月下旬のJR那須塩原駅前でのロケを皮切りに、九月上旬まで地元那須地域を中心に進められました。この映画では、全編を通じて映し出される那須地域の情緒あふれる風景や、栃木弁によって語られ

るセリフなどが大きな役割を果たしています。監督の梶間俊一さんは、「那須地域の風や山、川のおいさをたっぷりとりとらえることができた」と、出来映えに自信をみせています。



原田 龍二



石田ひかり

### 物語のあらすじ

会社人間の修(大人のオサム)は、ある日、突然子会社への配転命令を受ける。仕事一筋に生きてきた修に家族の反応は冷たい。ふと、人生の岐路に立ったとき、修は少年時代を過ごした那須高原へと旅立つ。途中一人旅の少年と出会い何故か自分の殻に閉じこもり口を開かず彼に、修はいつしか自らの少年時代を語り始めるのだ。



日が暮れるまで駆け回った野山、きらきら光る川面、夏祭りの夜。物もなくテレビもなかったあの頃。少年の日の痛みと優しさがあざやかに蘇る……

### 県内の市町民ホール等での上映日程

開催日	開催施設	開催日	開催施設
7/31(土)	那須野が原ハーモニーホール	8/17(火)	芳賀町民会館
8/1(日)	栃木県総合文化センター	18(木)	二宮町民会館
4(木)	野木町文化会館	19(木)	益子町民会館
5(木)	真岡市民会館	20(金)	佐野市文化会館
7(土)	茂木町民センター	21(土)	鹿沼市民文化センター
8(日)	黒羽町文化複合センター	22(日)	矢板市文化会館
10(火)	那須町文化センター	24(火)	高根沢町民ホール
11(水)	西那須野町民ホール	28(土)	黒磯市文化会館
12(木)	塩原町文化会館	29(日)	おおひら町民ホール
15(日)	栃木市文化会館	8月下旬	足利東映劇場

◆ 問合せ 県広報課  
028-623-2192

栃木県や那須地域の素晴らしい景色を堪能できる見ごたえのある映画です。ぜひ、ご家族そろってご覧ください。

### 市町民ホールでも上映

県では、この映画が、那須地域の雄大で美しい自然を舞台としており、栃木県の魅力を全国にアピールできる絶好の機会になるものと考え、地元七市町村とともに映画化を支援してきました。

映画館では、六月下旬から小山市内の映画館「シネマロプレ5」で先行上映され、今月末からは全国公開される予定です。また、夏休み期間中には、県興行環境衛生同業組合の協力を得て県内二十カ所の市町民ホール等でも上映されます。

● 栃木の魅力を全国にPR



# 栃木の子どもをみんなまで育てよう

うちの子 よその子 栃木の子  
みんなまで育てて明るい未来

「大人は子どもたちが悪いことをしても注意しない。もつと本気になって子どもを考へ、時には叱ってでも教えることが大切だ。」

昨年行った「心の教育」総合推進事業の集いや会議で多く寄せられた意見です。

県教育委員会では、こうした意見や成果を踏まえ、子どもたちを、地域の大人たちみんなまで健全に育てていこうとする気運を高めるため、今年度、(財)栃木県青少年育成県民会議と一体となって「栃木の子どもをみんなまで育てよう」運動を推進しています。

## 各地で「地域のつどい」

県教育委員会では、昨年八月に宇都宮市で開催した「子どもいき



●唐沢青年の家（親子のつどい）

いき中央のつどい」に続いて、十月から十二月までに、県内二十四か所で「子どもいきいき地域のつどい」を開催しました。

「つどい」に参加した生徒たちからは、「大人は子どもを見本になるような行動をしてほしい」「悪いことをしていたら注意して」などの意見が多数出されました。

## 「意識等調査」の結果

また、昨年九月から十月にかけては、「児童生徒指導に関する意識等調査」を実施しました。調査の対象は、小中高校の児童生徒・自治会長・教師・保護者で、約八千人から回答を得ました。

この結果を見ると、児童生徒の問題行動の主な原因を問う設問に対し、自治会長、教師、保護者のそれぞれ八割以上が、「家庭教育

育」や「地域や社会」にあるとしています。

また、多くの児童生徒は、「大人がマナーやルールを守っていない」ことを、地域の環境や大人の行動の問題点として指摘しています。

## 「栃木の子どもをみんなまで育てよう」運動

これらなどを踏まえて、今年度、県教育委員会では、(財)栃木県青少年育成県民会議と一体となって「栃木の子どもをみんなまで育てよう」運動を実施しています。

この運動は、「うちの子 よその子 栃木の子 みんなまで育てて明るい未来」をスローガンに掲げ、子どもたちを、地域の大人たちみんなまで育てていこうというものです。

運動の中では、私たち大人が、地域や家庭ですぐにでも取り組める次の三点を呼びかけています。子どもに悪いという自覚がなく



### ステップ1 まずは、やってみませんか！

- ◎人に迷惑をかけることは「ダメ」と言おう。
- ◎子供とあと10分長く話そう。
- ◎「本の時間」をつくろう。



●県民集会でされたシンポジウム

子どもが何を思い、考えているかをきちんと受け止め、対応していくための「子どもとあと一〇分長く話そう」

読書を通じて想像力を高め、心の成長を促すための「本の時間」をつくらう」の三点です。



## 「今こそ大人が模範を示すとき」

栃木県教育委員会  
教育長 古口紀夫

今の子どもたちは、本来きちんと身につけていなければならない、人間としての基礎・基本や倫理観、正義感などが未熟だといわれています。

かもしれません。今こそ、わたしたち大人が模範を示して、子どもたちによりよく、たくましく生きる生き方を教えていくことが大切です。家庭も地域社会も、もちろん学校も、しつけなどをどう行っていくか、真剣に考え、実行していく時だと思えます。

## 子どもの問題は大人の問題

五月三十一日、宇都宮市の県総合文化センターで、一五〇名以上が参加し「栃木の子どもをみんなまで育てよう」運動県民集会在開催されました。

まず「子どもの問題は大人の問題」をテーマにシンポジウムが行われました。作新学院大学加藤千佐子教授をコーディネーターに、保護者・教員・商店主・自治会長・鉄道関係者のシンポジストと会場が一緒になり、熱のこもった話し合いが行われました。

しつけは親の務め、親自身がしっかり生きる姿勢を見せる必要がある、地域でのふれあいも大切だ、電車の中でマナーの悪い子どもは大人みんなまで注意するべきだ、などの意見が出されました。

会場の参加者からも、「できることから実践することの大切さを痛感した」と発言があり、草の根的な広がり期待される県民集会になりました。



●街頭での啓発活動

◆問合せ  
県教委児童生徒指導緊急対策室  
TEL 028-6233-3359





# トピックス

## 皇太子同妃両殿下 日光二社一寺を「見学」

六月十五日から十七日まで、皇太子同妃両殿下が、ご静養のため日光市に滞在されました。

ご滞在中は、世界文化遺産に登録が予定されている二荒山神社、東照宮、輪王寺のご見学や、戦場ヶ原のご散策などをして過ごされました。



## ふれあいを求めて 県民の日記念行事開催

六月十五日の「栃木県民の日」にあわせて、県内七ブロック、七町（粟野町・市貝町・石橋町・田沼町・上河内町・烏山町・那須町）で様々な記念行事が開催され、約十二万人の参加者で賑わいました。

県主催の行事は、十二日に粟野町で「あわの薪能」が、那須町で「栃響・那須高原さわやかシンフォニー」が、十五日には県総合文化センターで記念式典が、盛大に行われました。式典では、栃木女子高等学校コーラス部の歌や、宇都宮市消防隊の演奏が披露されました。



●「あわの薪能」1,800人を魅了

問合せ  
県文化振興課  
TEL 028-623-2153

## 新しい県庁舎をつくる 県民懇談会初会合

県庁舎の建て替えについて、広く県民の意見を聞くため、有識者二十六名で構成する「新しい県庁舎をつくる県民懇談会」が、六月七日、県公館で開かれました。

まず渡辺知事が、「現庁舎は、昭和十三年の建設以来皆さまに親しまれてきたが、老朽化や行政部署の分散などで不自由をおかけしている。二十一世紀にふさわしい県庁舎の整備を進めるため、幅広い意見をお願いします」とあいさつしました。会長に宇都宮大学教授の藤本信義氏が、副会長には栃木県女性団体連絡協議会会長の大橋松氏が選出された後、議事に入り各委員から活発な意見が出されました。

懇談会は、検討結果を提言としてとりまとめ、県が今年度中に策定を予定している「県庁舎整備計画」に反映させたいとしています。



問合せ  
県管財課  
TEL 028-623-2083

## 許さない、産廃不法投棄

県は六月の環境月間にあわせて「産業廃棄物パトロール隊」を編成し、産業廃棄物の不法投棄、野焼き等の不適正処理の監視、改善指導を実施しました。

パトロールは、県の防災ヘリコプター「おおるり」も動員し、地上からは目が届かない場所の監視も行いました。この結果、県南地区で、上空から送られてきた映像により廃タイヤ等の野焼き現場を発見。地上の監視パトロール班が現場に直行し、野焼きを中止させるなどの成果を挙げました。

県では、今後も引き続き監視と



●6月1日合同庁舎前でパトロール隊出発式

指導を徹底し、不法投棄等の防止を図ることとしています。  
なお、県警生活保安課では、四月末から「環境犯罪情報」一〇番（028-621-5300）を開設し、一般の方からの情報提供を呼びかけています。

問合せ  
県環境整備課  
TEL 028-623-3154

## 西暦二〇〇〇年問題 対策本部の設置

県は六月十四日、小菅副知事を本部長とする「コンピューター西暦二〇〇〇年問題対策本部」を庁内に設置しました。

西暦を下二桁で認識するようプログラムされたコンピュータが、西暦二〇〇〇年を一九〇〇年と間違えて認識し誤作動した場合に、県民の生活に影響を及ぼす可能性もあるため、対策本部を設置して対応策等を検討していくものです。

今後は、関係各課が不測の事態を想定して対応策をまとめ、九月をめどに「二〇〇〇年問題危機管理計画」を策定します。また、対策本部では、県民の皆さまに、正確な情報提供を行っていくこととしています。

問合せ  
県情報管理課  
TEL 028-623-2220



●県庁内の対応はほぼ完了している

# ふるさと便利

## 今市市杉並木公園

ほのかな杉の香り  
のどかな水車の音

日光杉並木沿いにあり、並木の中の散策や鑑賞など、歴史や自然にふれあえる公園です。直径十メートルの大水車や、線香の粉ひきに使われた水車など十四基が設置されているほか、並木の鑑賞広場や植物園も楽しむことができます。

また、江戸時代半ばに建てられた名主屋敷と、二宮尊徳の建築した報徳仕法農家も復元されています。

これからの季節、涼みながら杉並木散策をしてみませんか。



交通  
東武日光線今市駅  
問合せ  
今市市観光協会  
TEL 0288-21-5611

# とちぎに国会を!!

## ●那須野ヶ原の歴史

江戸時代までの那須野ヶ原は、ほとんどが広漠たる原野でした。明治時代になり那須疏水が開かれ、国の殖産興業施策に沿って民間有志や華族による大規模な農場経営が展開されました。今でも、当時の開拓の面影を残す建築物が、数多く残されています。

現在は、全国でも有数の酪農地帯、水田地帯であり、各種産業も着実に発展しています。

那須野ヶ原の歴史は、明治という時代の転換期に多くの人々を受け入れ、開拓と共に歩んできた歴史だといえます。現在の、緑豊かな平地林や牧場、田園地帯も、多くは人の手によって形づくられてきました。

このような歴史を持つ那須野ヶ原に、21世紀の日本を拓く大事業である国会等移転を是非実現したいと考えています。

県民の皆さまからのご意見を受けて、県では「首都機能移転対策室」を「国会等移転対策室」へと改称しました。

問合せ 国会等移転対策室 TEL028-623-2208





# マガイト



花 歳 時 記

## ニッコウキスゲ (ユリ科)

「日光」の地名が付いた代表的植物。市の花にも選定されています。有名なキスゲ平では、鹿の食害のため数を減らしましたが、毎年補植されており、オレンジ色の海をリフトで渡ることが出来ます。

### ウォッチングポイント

日光霧降高原のほか那須沼原湿原など。見頃は7月10日前後。花の命は1日限りのシンデレラ。

## カルチャー CULTURE

### 県立博物館

- 第65回企画展「麻〜大いなる繊維〜」●8月1日(日)〜10月24日(日)●野州大麻を中心に、麻の栽培用具と麻織物を展示します。
- 講座 ①「教師のための博物館利用講座」●8月6日(金)●対象は県内の小・中・高・特殊教育諸学校の教師 ②連続講座「考古学入門講座」●8月8日(日)・22日(日)
- 体験学習「イワツバメを見てみよう」●7月31日(土)●対象は小・中学生
- 問合せ・申込み ☎028-634-1312

### 県立美術館

- 企画展「メティテーション-真昼の瞑想- 90年代の日本の美術」●7月11日(日)〜9月26日(日)
- 本展は、90年代の日本美術の内面的で奥の深い作品の「つぶやき」や「ささやき」をすくい取り、日本の現代美術との新たな対応の可能性を提案するものです。現代社会にあつて、人生の根源的な問題に緩やかなマイペースで関わり続ける現代作家14人の絵画、立体、版画、映像など約80点の作品を紹介します。
- 問合せ ☎028-621-3566



### 県子ども総合科学館

- 第34回企画展「宇宙へGO!」●7月17日(土)〜8月31日(火)●宇宙ってどんなところだろう? 探査衛星がとらえた映像や模型で宇宙を調べよう。3D体感シミュレーター(イラスト)や楽しく遊べる展示品がいっぱい。
- 夏休み工作教室●7月27日(火)〜8月1日(日)●夏休みの宿題にぴったりの教室です●毎日内容や対象学年が変わりますので、詳しくは下記にお問い合わせください(要予約)
- 問合せ ☎028-659-5555



### 県総合文化センター

- 松竹大歌舞伎(写真)●7月20日(火)12:30/17:30開演●当日券あり
- 栃木県交響楽団特別演奏会●9月25日(土)18:30開演【那須野が原ハーモニーホール ☎0287-24-0880】
- 9月26日(日)14:00開演【芳賀町民会館 ☎028-677-0009】※入場無料・要整理券。詳しくは各会館へ
- アンナ・クオソプラノリサイタル●12月4日(土)18:30開演 ●ワルシャワ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」●12月19日(日)16:00開演
- 問合せ ☎028-643-1010



## 県政

### 催し

- 「森と湖に親しむ旬間」イベント
- ◎アユ・イワナのつかみどり他●7月24日(土)午前10時〜正午●東荒川ダム親水公園内(塩谷町)
- ◎ダム的一般公開●7月21日(水)〜31日(土)午前10時〜午後3時●東荒川ダム(塩谷町)、寺山ダム(矢板市)、西荒川ダム(塩谷町)、塩原ダム(塩原町)●問合せ 県那珂川水系ダム管理事務所 ☎0287-43-5224

- 県保健環境センター公開デー
- 7月25日(日)午前9時30分〜午後4時●県保健環境センター(河内町下岡本)●内容 センター内見学ツアー、草木染め体験、講演会「健康情報とつきあうには」、フリーマーケット他●問合せ 同センター ☎028-673-9070

- 企業庁施設見学会
- 8月11日(水)午前8時45分県議会棟前集合●コース 川治ダム→川治第一発電所→麒麟ビル工場→鬼怒水道事務所●対象・定員 小学生以上の方45名●参加無料●応募方法 往復ハガキに①郵便番号②住所③氏名(複数の場合は全員連記。4名以内)④年齢⑤電話番号を記入のうえ、〒320-0033 宇都宮市本町12-11 栃木県企業庁経営企画課まで●締切 7月23日

- (金)●問合せ 同経営企画課 ☎028-623-3823

- 緑の相談所の催し
- 《中央公園 ☎028-636-7621》◎講座「ハーブクッキングI」●7月18日(日)午前9時〜
- 定員 30名
- 《井頭公園 ☎0285-82-4475》◎講座「観葉植物の増やし方と鉢づくり」●7月18日(日)午前10時〜●定員 40名
- 《那須野が原公園 ☎0287-36-1220》◎講座「クワガタ教室」●7月20日(火)、25日(日)両日とも午前10時〜と午後1時〜の2回●定員 小学生50名
- 《みかも山公園 ☎0282-55-7733》◎都市公園の生き物たち写真展●7月16日(金)〜8月8日(日)

### 講座

- 女性のための講座
- ◎医療事務●9月14日(火)〜11月16日(火)まで18日間、いずれも午前9時30分〜午後3時30分●とちぎ女性センター(宇都宮市)●定員 20名●経費 28,500円●申込みは7月28日(水)午前10時〜午後1時までに講習会場に本人が直接来所
- ◎ワープロ(初級)●9月9日(木)〜10月14日(木)まで18日間、いずれも午前9時30分〜午後3時30分●とちぎ女性センター(宇都宮市)●定員 20名●経費 13,500円●申込みは7月29日(木)午前10時〜午後1時までに講習会場に本人が直接来所
- ◎パソコン(初級)●8月25日(水)〜9月30日(木)まで18日間、いずれも午前9時30分〜午後3時30分●岩舟町こなら館●定員 20名●経費 13,500円●申込みは7月30日(金)午前10時〜午後1時までに講習会場に本人が直

- 接来所●問合せ とちぎ女性センター ☎028-665-7706

- 障害児教育教養講座
- 8月17日(火)及び20日(金)●県総合教育センター(宇都宮市)●テーマ 「特別なニーズのある子供の指導〜不注意、衝動的、落ち着きがない子供をめぐって〜」●申込みは7月30日(金)までに電話で●問合せ 同センター ☎028-665-7210

### 募集

- 「フェスタinパルティ」参加者募集
- 10月29日(金)〜30日(土)●とちぎ女性センター(宇都宮市)●男女共同参画社会を目指したワークショップ、手作り品展示、大道芸パフォーマンスなど自由な発想で参加してください●申込みは8月29日(日)までに所定の用紙にて●問合せ 同センター ☎028-665-7700

- 「とちぎ・つくばのつどい」参加企業募集
- 8月26日(木)〜27日(金)1泊2日●内容 講演会「二足歩行ロボットの制御技術について」、施設見学、つくば国立研究所研究者との交流会等●参加費 20,000円●定員 30名●申込みは8月6日(金)までに電話で●問合せ 同事務局 ☎028-633-3740又は工業課 ☎028-623-3249

- 交通事故犠牲者の遺族等の手記募集
- 交通事故で家族や友人を失った悲しみや加害者としての苦悩等をテーマにした手記を募集します●応募方法 400字詰原稿用紙3枚以内にまとめ、住所、氏名、職業、年齢、性別、電話番号を付記し、県警察本部交通企画課(〒320-8510 宇都宮市埴田1-1-20)まで●締切 8月31日(火)●対象 県内在住・在勤の

- 方●問合せ 同交通企画課 ☎028-621-0110

- 青少年健全育成のための標語募集
- 青少年の健全育成と非行防止意識の高揚を図るため標語を募集します●応募方法 作品に、住所、氏名、年齢、電話番号を付記し、ハガキ、FAX又はインターネットで(標語の字数、形態は定めなし)●締切 7月31日(土)●応募先 〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 県女性青少年課 ☎028-623-3077、FAX028-623-3150

### 試験

- 中学校卒業程度認定試験
- 11月5日(金)●県総合教育センター(宇都宮市瓦合町)●対象 就学義務猶予免除者である者又はあった者で、満15歳以上になる者他●願書受付 8月2日(月)〜9月1日(水)●問合せ 県義務教育課 ☎028-623-3389

### 案内

- 夏の無謀運転息放運動の実施
- 期間 7月16日(金)〜25日(日)●スローガン『とちぎの交通マナーを高めよう』●重点 ①スピードの出しすぎ、飲酒運転の防止②イエロー・ストップ運動の推進

- 賃金事情調査にご協力ください
- 県内の事業所を対象に、賃金、初任給、週休制等の実態を調査します●調査基準日 7月31日●調査期間 8月2日(月)〜20日(金)●調査票を郵送しますので、記入後、最寄りの県労政事務所にご返送ください●問合せ 県労政課 ☎028-623-3219



### 栃木県井頭公園

●たくさんあります季節ごとの感動シーン  
夏本番、水の恋しい季節となりました。今年も、井頭公園の万人プールが7月10日からオープンしました。水面積約10,000㎡のこのプールは県内最大規模で、波のプールや流れるプール、ウォータースライダーなど楽しいプールがたくさんあって、夏の思い出づくりに最適です。

プールの他にも、公園内には花ちょう遊館、ボート池、鳥見亭、フィールドアスレチック、テニスコート、釣り池、変わり自転車、パターゴルフなどいろいろな施設や四季折々の自然があり、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々に楽しんでいただける公園として年間約80万人の方々に利用されています。



- 所在地 真岡市下籠谷99
- 交通 東武宇都宮駅から東野バス「石法寺経由真岡行き」真岡駅から東野バス「宇都宮行き」
- 利用料 万人プール 大人1,100円、子供400円/花ちょう遊館420円/フィールドアスレチック大人310円、子供150円/他
- 問合せ 井頭公園管理事務所 ☎0285-83-3121



### 栃木県提供の番組

#### 【とちぎテレビ】

- 番組名 「とちぎ情報局」
- 毎週日曜日 午後6時5分〜6時50分(再放送) 金曜日 午後10時〜10時45分
- 県内各地の話題にスポットをあて、毎週異なった地域情報を紹介する「わがまち発見伝」をはじめ、県内のスポーツ少年クラブなどによる大縄跳びの回数を競う「みんなでジャンプ」、県内で活躍している人や団体にスポットをあてる「あなたの出番です」など、様々な話題をコーナー形式で紹介するワイド番組です。

- ◎県提供番組に関するお問い合わせは 県広報課 ☎028-623-2190

- 番組名 「クローズアップとちぎ」
- 毎週土曜日 午前9時〜9時45分(再放送) 月曜日 午後10時〜10時45分
- 県の施策をテーマごとに掘り下げて解説したり、日常生活にすぐに役立つ情報をシリーズでお届けします。また、1週間の県政ニュースをまとめてお送りする「県政フラッシュ」、昭和30〜40年代の栃木県のニュースの映像をもとに、当時の様子を振り返る「あの頃のとちぎ」など、多彩な情報をコーナー形式でテンポよく紹介します。

